

『福井大学学術機関リポジトリ』の一般公開について

福井大学では、平成19年9月28日から本学の様々な学術成果物(学術論文等)を全世界に向けて発信するシステム、「福井大学学術機関リポジトリ」の一般公開を始めました。
https://karin.flib.u-ukui.ac.jp/?page_id=110



1.事業名

「福井大学学術機関リポジトリ」

2.事業の趣旨

リポジトリとは保管庫・貯蔵庫といり意味があります。福井大学学術機関リポジトリは、福井大学の教員及び職員が執筆した学術雑誌掲載論文や研究紀要論文などの学術成果物をサーバシステムに蓄え、それに検索機能を持たせて、インターネットを介して学内外に公開するものです。

3.事業の目的

本学の学術成果を発信することによって、社会に福井大学の研究・教育活動の説明責任を果たすとともに、その成果を社会に還元することで、地域貢献の推進、産学連携の促進が期待できます。また、大学にとっては、学術成果を一元的に保存することで、永続的・効果的な集積を図ることができます。

4.事業内容

雑誌や学会誌に掲載された論文は、通常その雑誌等を購読しなければ見ることはできませんが、この学術機関リポジトリに掲載することによって無料で論文を閲覧することが可能となります。また、本学研究者にとっても、執筆した研究論文をより多くの人に読んでもらうことで、自分の研究業績のアピール向上につながり、しいては、大学にとって研究機関としてのブランド向上につながります。さらに、このリポジトリシステムは、Google Scholar、OAIster(世界リポジトリ検索サイト)など様々な検索エンジンをとおして全世界から検索される仕組みを持っていることが大きな特徴になっており、福井大学の学術成果のショーウインドウとして広くアピールができます。

5.今後の展開

今後は、学術雑誌等掲載論文の積極的な収集を行い、また各学部やセンター等で発行している様々な研究・技術報告書等にも収集範囲を広げ福井大学の知的財産を蓄えていく予定です。さらに、地域連携を図るために、福井大学だけではなく県内他大学等も取り込んだ「福井県学術成果コレクション(仮称)」の構築を目指していきたいと考えております。